

新入社員★Interview

深田博紀 × 中村香月

リブランディング

20代向け新規プロジェクト
統括トレーナー

■ 会社にジョインしたきっかけは？

深田：当時、株式会社OnLineは新しいマーケターを求めているタイミングで、ある日、トレーナーの比嘉さんが声をかけてくれたんですね、「深ちゃん向いているんじゃないか？」と。有難いですよね。実は比嘉さんは福岡に住んでいる人限定の社員募集の案件だと知らずに声をかけてくれていたんです。当時は僕は神奈川に住んでいて、その時点で一旦は白紙になるんですけれど、その時には既にこういう形でなら役に立てるだろうなあと自然とアイデアが浮かんでいました。それは結果的にマーケターではなくて、僕らしくお役に立てる形としてお話をさせて頂いて、それで今があります。

中村：株式会社OnLineのある講座で、当社で働くビジョンが出てきました。講座終了後、たまたま株式会社OnLineに遊びに行く機会があり、これは運命だなと思い、その場で思い切って、白石さんと晋也さんに「絶対にあなたたちの役に立つから雇ってください！」と直談判しました。

■ 現在、主に担当するお仕事は？

深田：一つは、会社が持つ本来の姿、魅力を世の中に周知できるようなブランディングをすることです。

社会事業的な側面も認知できるように、そして説明会で「私たちはサービス業ではなく教育業と位置付けて…」と説明している通り、本当に教育業としての意識が内面に宿っているので、堂々と教育業としてブランディングしていくことでビジネス

ページが一段上に加速していきだろーと考えました。そんなブランディングのお仕事です。

二つ目は、プロジェクト卒業後、このまま「じぶんブランド型ビジネス」を本格的に始めたいという人たちの為に「ダイヤモンドコンセプト・マイニングプログラム」という講座を提供しています。これは簡単にいうと、それぞれの「じぶんブランド」を約3ヶ月で立ち上げ、プロとして歩みだそうという講座です。

中村：株式会社OnLineのキャリアで悩む20代のための新規プロジェクトのプロジェクト統括をやっています！マーケティングや講師として現場でも幅広く活動しており、プロジェクトマネジメント、メンバーマネジメントもさせてもらっています。今後の日本の未来を担っていく20代の若者が1人でも多く、自分の人生をいきいきと生きられるようになって、社会が活性化していけるよう、リリースに向けて日夜試行錯誤し、挑戦しています。

■ 今後、チャレンジしてみたい領域は？

深田：元々ベシストということもあって、じぶらsongの話を頂いたので、これはまた全然違うところでチャレンジングですね。未知な部分も多く面白いことになりそうで、楽しみです！

中村：今はマーケターや講師としてですが、いずれはこの株式会社OnLineで「経営」の分野に携わって、人材やお金、ビジネスを回して行きたいと思っています！

■ あなたが描くご自身と株式会社OnLineの未来とは？

深田：そうですね、ブランディングという外側の仕事と、講座という内側の仕事の両面を担当しているので色々イメージはしています。外側はじっくり進めて、内側でプロジェクト卒業生から小さな成功者をどんどん出していくことからかなと思います。例えば年収1000万円という起業家としての最初のハードルを超える人が続々と出てくるような内側の成功が、外側のブランディングにも良い循環を生み出し始めるかなと期待しています。

中村：元々株式会社OnLineの「リカレント教育」へ着目した本質的な教育にとっても惹かれていたので、自分で起業し、「教育業」を展開して行く予定でした。今は株式会社OnLineで働いていますが、ゆくゆくは「分社」し、株式会社OnLineとパートナー会社として「教育」の分野で、より多様的に社会に価値を届けて行ければと考えています！

編集後記



大西 (あっちゃん)

今回も、多くの方に取材にご協力をいただき、本当に、ありがとうございました。株式会社OnLineのことを少しでも知っていただき、さらにあなたの人生にとって、何かの気付きになったら嬉しいです^^ 次号もお楽しみに♪



Lee (リンリン)

晋也さんのインタビューには面白い部分たくさんありすぎて、スペースの都合で割愛させていただきます。機会がありましたら、インタビューのこぼれ話をできたらなーと思っています。また次号よろしくお願いします！



野原 (しんちゃん)

今回の「OffLine」は前回同様、内容が超濃厚!! 読み応え抜群です。特にインタビュー記事は全て載せ切れていないんだけど、読んでいて学びが多いものになっています。ぜひじっくり読んで、みなさんのお役に立ててくださいね。



坂東 (まさこ)

今号も株式会社OnLineのメンバーの知らなかった面に触れることができ、楽しみながら作りました! 広報誌を通して皆さんとつながっていきけると嬉しいです。それにしても、赤ちゃんを抱っこしてる森高さんの表情、じーんとしちゃうなあ。